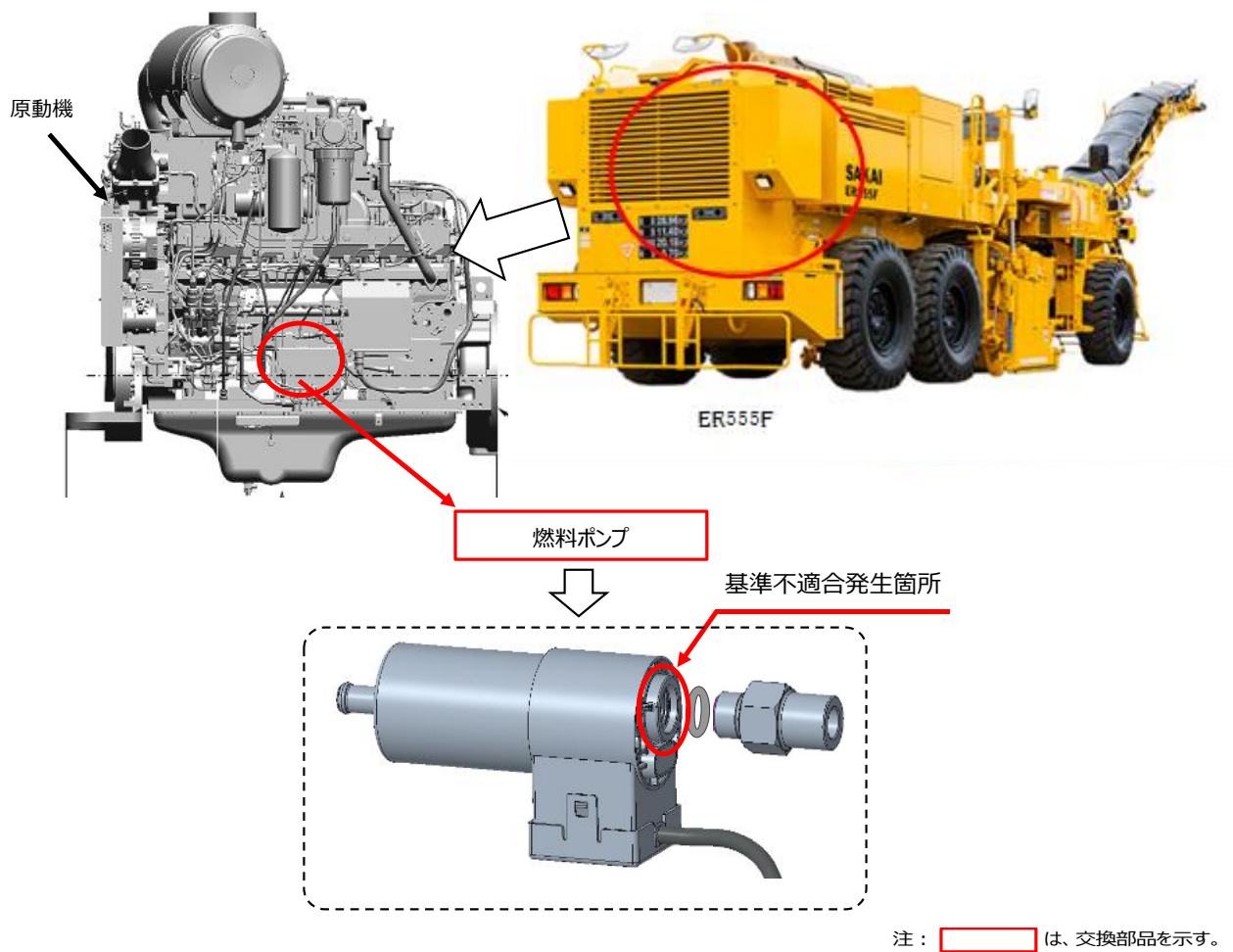


改善箇所説明図



グレーダ及びロード・スタビライザの燃料ポンプにおいて、チェックバルブを組付けるねじ部の設計検討が不十分なため、強度が不足しているものがある。そのため、チェックバルブを組付けた際にねじ部に亀裂が生じたものがあり、最悪の場合、燃料が漏れるおそれがある。

改善措置の内容：全車両、燃料ポンプを対策品に交換する。

識別：燃料ポンプハウジング側面に記載の製造日刻印で識別する。

